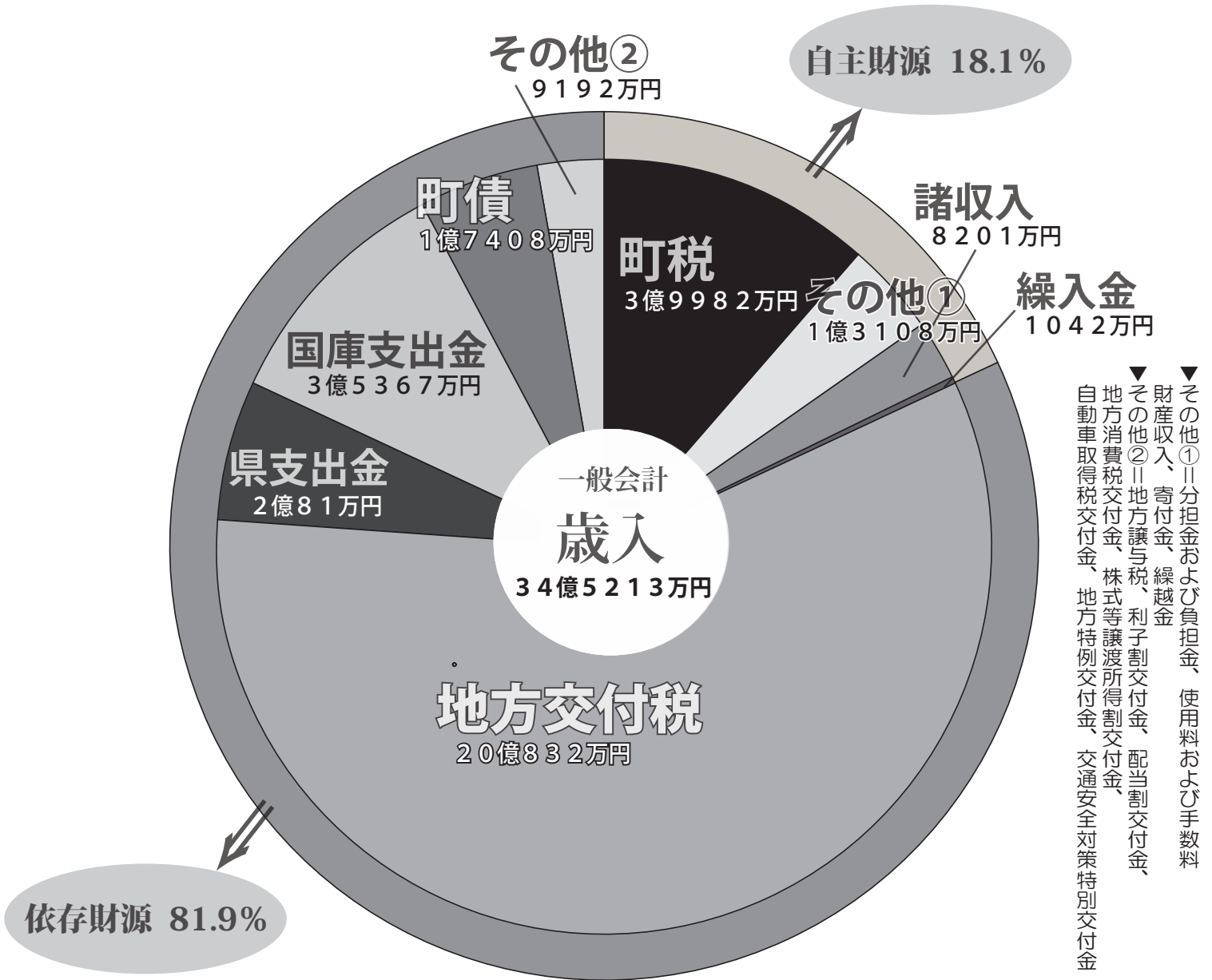


9

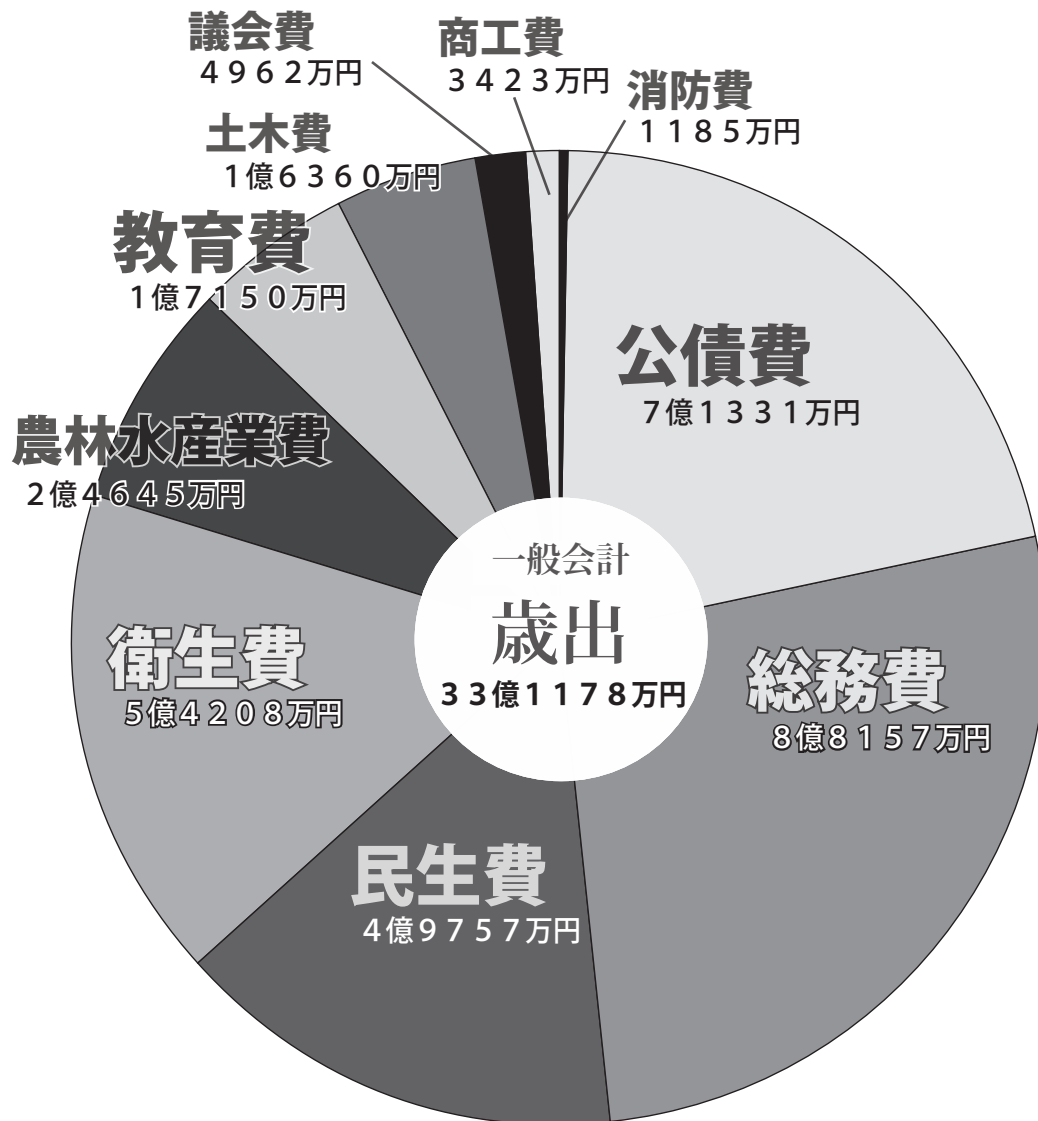
9月に開かれた第4回町議会定例会で、平成21年度のまちの歳入・歳出の決算が認定され、一般会計では、約1億4035万円の黒字となりました。まちがどのようにお金を使ったのか概況をお知らせします。



一般会計 歳入

平成21年度一般会計の歳入(ま
 ちに入ったお金)は、合計約
 34億5213万円。前年度と比べ約
 12%増加しています。
 歳入全体に占める割合で見ると、
 国から交付される地方交付税が最も
 大きく、総額20億832万円。歳入
 の58%を占めています。
 次に占める割合が大きいのは、町
 税の約3億9982万円、まちの
 皆さんからの町民税や固定資産税な
 どです。さらに、国庫支出金の約
 3億5367万円、県支出金の約
 2億81万円と続きます。
 これら歳入を財源の性質から見ると、
 町税や諸収入などの自主財源が
 総額約6億2333万円、全体の
 18.1%であるのに対し、国や県か
 らの地方交付税などの依存財源は
 総額28億2880万円、全体の81.
 9%となっています。
 昨年度は、依存財源が全体の約
 78%であり、依存度がより高くなっ
 てきています。

平成21年度一般会計決算 まちの家計簿 2000



一般会計

歳出

平成21年度一般会計の歳出(まちが支払ったお金)は、合計約33億1178万円。前年度と比べ約12%増加しました。

歳出全体に占める割合で見ると、庁舎管理や県西部広域行政管理組合負担金、過疎バス対策費、財政調整基金積立金など全体的な管理事務に使った総務費が約8億8157万円と一番大きくなりました。この中には、国の経済対策で行った事業にかかる費用1億4208万円が含まれます。

続いて、昨年度一番大きな割合を占めていた町債の返済金である公債費が約7億1331万円と、まだ借金返済の割合が多いことがわかります。

次いで保健事業や簡易水道特別会計への繰出金、ごみ処理を行う日野町・江府町・日南町衛生施設管理組合負担金、日野病院への負担金などに使った衛生費が約5億4208万円、福祉事業や保育所運営、介護保険・後期高齢者医療保険特別会計への繰出金などの民生費が約4億9757万円という順になりました。また、農林業振興に使った農林水産業費が約2億4645万円、小・中学校の運営や生涯学習推進などに使った教育費が約1億7150万円となりました。